

私の目的はよく果たされた

〔帰敬偈〕

オーム・幸福になりますように

世間、来世におけるよき再生、解脱を見る眼

輪廻の道を彷徨い、疲れ果てた者たちが休息を得る場所

〔これらすべての〕幸福の源である恩深き師（ラマ）と  
至高なる智慧の蔵（文殊菩薩）の御足に礼拝いたします

1

〔仏陀は〕努力が足りず、〔悟りに至る〕膨大な資糧を積むためには

〔自分と他者がなした〕善行を随喜することが最も優れた行いである、と言われた

特に、「奢った心を離れて自分がなした以前の善行を大いに喜ぶならば

以前になした善行をますます高めることができる」と

勝利者（仏陀）が述べられたことを成就するために

他にも〔なすべき〕必要なことがたくさんあるのを見たならば

心よ、あなたはこのように喜びを起こすのがよい

まず最初に、幅広く教えをたくさん聞くことを求め

次に、すべての教義を個人的なアドバイスとして心に捉え

最後に、日夜常にそれを実践し

そのすべてを、教えを広めるために廻向した

このように考えると、私の目的はよく果たされた

ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

2

取捨の区別をすべて迷わせてしまう〔心の〕闇を

正しい聴聞という灯明によって晴らさなければ

〔悟りに至る〕道を知らず

解脱という最も勝れた都市に入ることなどどうしてできようか

それゆえに、不敗の法王（弥勒菩薩）と

「世界の六人の莊嚴と二人の至高なる方」と言われる方々のよく知られた著作を

一部分や粗いレベルのもので満足することなく

すべてを詳しく学んだのである

注：「世界の六人の莊嚴と二人の至高なる方」とは、ナーガールジュナ、アーリヤデーヴァ、アサンガ、ヴァスバンドゥ、ディグナーガ、ダルマキールティと戒律の師であるシャーキャプラバ、グナプラバである。

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

3

特に、俗世間を見る者が  
事物の真如のありようを確立する唯一の扉は  
完全なる論理学であり  
その難点を何度も繰り返し努力して学んだ

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

4

顕教と密教の著作〔を学ぶ〕には大変な努力をしたけれど  
その深遠なる意味を実践し  
述べるためには何も習得しておらず  
何も知らない人々を遥かに超えて、前進していないことに気がついた

そこで、特にナーガールジュナの著作の深遠さを  
分析する微細な論理学の道から  
正しい見解を導き出すすべての要点をよく学んで  
疑問点を断ち切った

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

5

この世において、完全なる仏陀の境地に至るためには  
深遠なる金剛乗と波羅蜜乗の二つがあるが  
「秘密真言乗は波羅蜜乗よりも甚だ特別な聖者の道である」と言われており  
太陽や月のように、すべての者たちに広く知られている

その言葉は真実の言葉であると主張しているように  
深遠なる乗り物がどのようなものであるかを探究することなく  
賢者であると自称する者、そのような者が智慧ある者だというならば  
それ以外の一体誰が、鈍い知性を持つ者だと言えるだろうか

〔金剛乗という〕無上なる修行道に出会うことは非常に稀なことであり  
このような〔素晴らしい〕道が無関心にも捨てるとは、ああ、驚くべきことである  
それゆえ、勝利者（仏陀）の最も優れた乗り物は  
仏陀に〔出会う〕よりも稀な金剛乗であり  
二つの悉地の蔵となる深遠なる乗り物に乗って

多くの努力をして長い時間学んだ

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

6

〔四種の〕密教経典のうち〔所作タントラ、行タントラ、ヨーガタントラ〕という  
下の三つの修行方法を知らずに

無上ヨーガタントラを四種の密教経典の中で最も優れていると決めたとしても  
それはただの約束に過ぎないことをよく見たならば

『秘密タントラ一般（名称不詳）』（サーマーンヤ・ヴィディラングフヤ・タントラ）、  
『蘇悉地経』（スシッディカラタントラ）、『妙臂菩薩所問経』など  
所作タントラの三部の法（仏部・蓮華部・金剛部）など一般的な密教経典と  
特別な密教経典などを、長い時間をかけて心に馴染ませた

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

7

〔四種の密教経典のうち〕下から二番目に属する行タントラの主なものは『大日経』であり  
それを学んで、行タントラのどんなものもよく確かめるべきである

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

8

〔四種の密教経典のうち〕下から三番目に属するヨーガタントラの  
主な経典である『真実撰経』（タットヴァサングラハ）と  
その釈タントラである『金剛頂経』などを学んだので  
ヨーガタントラの饗宴を体験した

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

9

〔四種の密教経典のうち下から四番目に属する〕無上ヨーガタントラは  
聖地インドの賢者たちに、太陽と月の如く広く知られている  
父タントラの『秘密集会』（グヒヤサマージャ）、  
母タントラの『呼金剛』（ヘーヴァジュラ）と『勝楽』（チャクラサンヴァラ）、根本タント  
ラ、釈タントラなどと  
他の要約タントラとは異なる流儀を開いた『カーラチャクラ・タントラ』と  
その注釈書である『無垢の光』を学んだ

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

まず最初に、幅広く多くの教えを聴聞し探究したことについて述べたのがこの第一章である

10

次に、弟子の心の闇を晴らす最勝のものは  
文殊菩薩への長きにわたる強い堅固な信心〔を持つこと〕であり  
テキストの教えを〔個人的な〕アドバイスとして捉えるために祈願し  
その因と資糧のすべてを〔集めることに〕努力した

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

11

このように努力したことにより  
ナーガールジュナとアサンガから順次伝えられてきた  
菩提道次第の教えに対する独自の確信を見出すに至ったのであり  
深遠で最勝なる般若経の教えが〔心に〕現れた

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

12

インドの北方には、論理学のテキストを学んだ者も、学ばない者も声を揃えて  
「経典や、〔ディグナーガ（陣那）の〕『集量論』やダルマキールティ（法称）の七論書のすべ  
てには  
悟りに至る実践の段階は述べられていない」と述べている

しかし、文殊菩薩はディグナーガの目の前に現れて  
「このことを記せば将来一切有情の眼となるだろう」と言われた  
お言葉による許可を得たことも正しい根拠であり  
〔論理学には悟りに至る実践の段階は述べられていないという考えは〕非論理的なことを語る  
者たちの最たるものであるということを理解した

特にこのありようを詳しく分析してみると、〔ディグナーガの〕『集量論』の帰敬偈の意味が  
〔ダルマキールティの〕『量評釈』第2章で解説されており  
解脱を望む者たちは、正しい根拠を成立させる順観と逆観〔という二つの視点〕によって  
世尊が模範となるべき人であることを立証したのである

それゆえ、世尊の教えのみが解脱を求めるものたちの入るべき門戸である

という深い確信を得た  
それにより、二つの乗り物における修行道のすべての重要な点が  
集約された論理の道から正しく導き出されたので、特別な喜びを得た

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

13  
それから『瑜伽師地論』の「菩薩地」と『大乘莊嚴經論』の二つを  
よく結び合わせてその通りに努力して学んだことにより  
不敗の法主（弥勒菩薩）の著作と  
それに付随するすべての仏典を実践するための個人的なアドバイスが得られた

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

14  
特に、深遠で広大な優れた論集を順序よく整えたことにより  
修行道のすべての要点について確信を与えてくれる  
〔シャーンティデーヴァ（寂天）の〕『大乘集菩薩学論』（シクシャーサムッチャヤ）に依存  
して  
『経集』（スートラサムッチャヤ）など、ナーガールジュナの流儀による  
最も優れた多くの著作に基づく意味を実践する段階が正しく理解できた

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

15  
そして〔北京版目録にある〕  
『禅定後次第分』（ディヤーナ・ウッタラ・パタラ・クラマ）と『大日経』を  
ブツダグヒヤが善く説明したところの  
『上じょうじょうりよぶんしだいこうしゃく静慮分次第広釈』（ディヤーナ・ウッタラパタラ・ティーカー）の口伝の教えに依存して  
修行道のすべての要点が正しい教えとなって個人的アドバイスとして理解できた

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

16  
栄えある『真実要約タントラ』（タットヴァ・サングラハ・タントラ）の修行道の要点が  
三種の禅定に集約されていると見ることは少し容易であるが  
この修行道の深遠なる瞑想方法を理解するのは難しい  
それを偉大な学者であるブツダグヒヤが

根本タントラ、釈タントラ、同類タントラの三種を結び合わせて解説し  
三種のタントラの深遠なる実践を  
瞑想の段階通りに説明されたので、心の闇が晴らされた

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

17

成就者仏陀のすべての善説の中でも究極のものは  
栄えある無上ヨーガタントラである  
その中でも甚だ深遠なるものは  
タントラの王者と言われる『秘密集会タントラ』（グヒヤサマージャ・タントラ）である  
説法者の中で〔最も優れた方である〕ナーガールジュナは次のように述べられた

「根本タントラにおける修行道の要点には  
六種の解釈方法と四種の分類による解釈方法のしるしがつけられている  
ゆえに、〔根本タントラの内容は〕釈タントラに従って  
ラマの口伝の教えから知るべきである」と言われた

その〔ナーガールジュナの〕お言葉を要点として維持し  
口伝による『究極のものを要約したもの』、『行集』、『成就法の規定』など  
『秘密集会タントラ』の聖者流のすべての小品を長期にわたって心に馴染ませ  
〔『秘密集会タントラ』の〕根本タントラを灯火の如く輝かせたことにより  
五つの偉大な釈タントラと結び合わせ、大いに努力して学んだ

〔このように学んだことにより〕『秘密集会タントラ』の一般的な二次第のすべてと  
特に、究竟次第の段階のすべての要点を見出した

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

18

その力によって『勝樂』（チャクラサンヴァラ）、『呼金剛』（ヘーヴァジュラ）  
『時輪』（カーラチャクラ）など  
多くの密教經典の要点の意味が個人的なアドバイスとして理解できた

それらを私が他の人たちに説いたので  
ここで知性ある者たちのために、その入り口だけ〔を記したのである〕

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

次に、すべてのテキストを個人的なアドバイスとして心に捉えたことについて述べたのがこの第二章である

19

このように、教えの蔵となったなら、  
〔金剛乗と波羅蜜乗という〕二つの大乘に共通する〔『菩提道次第広論』〕と  
〔密教〕独自の修行道である〔『真言道次第論』〕という  
二つの段階の要点を集約した完全なる修行の道に、心を馴染ませて学んだ

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

20

「菩薩の祈願は、ガンジス川のすべての砂の如く膨大なものであり  
正法を維持しようという祈願の中に集約されている」と世尊が説かれているので  
ここで積んだすべての善根は皆、仏教の教えを繁栄させるために廻向した

このように考えると、私の目的はよく果たされた  
ありがとうございます。尊者の智慧の蔵よ！

最後に、日夜常にそれを修行し  
そのすべてを教えが繁栄するために廻向したことを述べたのがこの第三章である

21

自ら積んだ善を幅広く高めるために  
知性ある多くの恵まれた者たちに  
誤りなき門戸を正しく示すため  
自らの悟りの内容について述べ、これを記した

このようにして得た善の資糧により  
一切有情が同じ手順に従って  
仏陀の卓越した禁戒を維持し  
勝利者を喜ばせる修行の道に入ることができますように

奥付：

自身の伝記をわずかながら語ったこの著作は、多聞の比丘であり、東方にあるツォンカ地方に  
生まれたロサン・タクパー・ペルが、ドク山にあるガンデン・ナムバル・ゲルウェーリン（ガ  
ンデン僧院）で記した。

【日本語試訳：マリア・リンチェン 2021年5月】